

ことわざ① 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 _____ 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1 弟子が師匠よりも優れた知識や技能を身につけること 「○○は○○より出でて○○より○○し」	青は藍より出でて藍より青し
2 悪い行いや噂は、世間に広まるのが早い 「悪事○○○を走る」	悪事千里を走る
3 目の前のことが解決すれば、後のことはもうどうなっても良い 「後は○となれ○○となれ」	後は野となれ山となれ
4 あぶと蜂の両方取れない→欲張ると1つも取れない 「○○○○とらず」	あぶ蜂とらず
5 小さなことでも続けると成果が出る 「○○○○石を穿つ」	雨だれ石を穿つ
6 問題が起こった後に、かえって以前よりも良い結果となる 「雨降って○○○○○」	雨降って地固まる
7 心配するよりやってみた方が良いということ 「案ずるより○○○○○○○」	案ずるより産むが易し
8 居づらい場所でも我慢すると、良いことがあるということ 「石の上にも○○○○○」	石の上にも三年
9 安全な橋を確かめながら渡る→慎重になる 「○○○○○を叩いて渡る」	石橋を叩いて渡る
10 医者は人にアドバイスするが、自分はできていない 「医者○○○○○○○」	医者の不養生
11 危険な近道よりも遠回りでも確実な方法の方が、早く物事が終わる 「急がば○○○」	急がば回れ
12 ある事柄の一部を聞いただけで全てを理解できる 「○○を聞いて○○○を知る」	一を聞いて十を知る
13 少し先に何が起こるか分からないということ 「○○○○先は闇」	一寸先は闇
14 小さく弱い者にも意地や根性があるから、侮ってはならないということ 「○○○○の虫にも○○の魂」	一寸の虫にも五分の魂

15 何かしていると良いことが起きる

「〇〇も歩けば〇〇に当たる」

犬も歩けば棒に当たる

16 考えや知識が狭く、もっと広い世界があることを知らない

「〇〇〇〇〇〇〇〇〇大海を知らず」

井の中の蛙大海を知らず

17 つまらないものでも、信じる人にとっては価値があること

「〇〇〇の頭も〇〇〇〇から」

いわしの頭も信心から

18 相手が好意を見せれば、自分も好意的に行動しようとする

「〇〇〇〇〇あれば〇〇〇〇〇」

魚心あれば水心

19 思いがけないことや他人の誘いによって、良い方に導かれること

「牛に引かれて〇〇〇〇〇〇〇〇」

牛に引かれて善光寺参り

ことわざ② 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1 身体が大きいだけで役に立たないこと 「うどの〇〇〇〇」	うどの大木
2 馬に念仏を読んでも無駄→意見や忠告に耳を貸さず全く効果がないこと 「馬の耳に〇〇〇〇」	馬の耳に念仏
3 平凡な親からは非凡な子は生まれない 「〇〇のつるに〇〇〇はならぬ」	瓜のつるになすびはならぬ
4 小さなエサで大魚を釣るように、少しの労力でより大きな利益を生む 「〇〇で〇〇を釣る」	海老で鯛を釣る
5 人に冷たくて怖い人でも時には涙を流すこと 「〇〇の目にも〇〇〇」	鬼の目にも涙
6 中途半端で役に立たないものや、その状態のこと 「帯に〇〇〇〇たすきに〇〇〇」	帯に短したすきに長し
7 危険な時には助かりたいから、頼りになら無い物にも救いを求める 「溺れる者は〇〇〇〇〇〇〇」	溺れる者はわらをもつかむ
8 いつも大事に世話をしてあげている相手から裏切られる 「〇〇〇〇に手を噛まれる」	飼い犬に手を噛まれる
9 子供の才能や性格は親に似るということ 「蛙の子は〇〇〇」	蛙の子は蛙
10 蛙に水をかけても平気のように、何をされても平然としていること 「蛙の面に〇〇」	蛙の面に水
11 名人でも失敗することがあること 「河童の〇〇〇〇〇」	河童の川流れ
12 隠し事をしても、誰がどこで見聞きしているか分からない 「壁に〇〇あり障子に〇あり」	壁に耳あり障子に目あり
13 やるべき努力をした後は、待っていればきっと良い結果になって現れる 「〇〇〇は寝て待て」	果報は寝て待て
14 年上の人の経験はありがたいものであること 「亀の甲より〇〇〇〇〇」	亀の甲より年の功

15 大したことのないものでも、ないよりはましである
「〇〇〇も山のにぎわい」

枯れ木も山のにぎわい

16 可愛い子供は、甘やかさずに厳しい経験をさせた方が良い
「かわいい子には〇〇〇〇〇〇」

かわいい子には旅をさせよ

17 優れたものは、多少悪い状態になっても価値を保っているということ
「腐っても〇〇」

腐っても鯛

18 余計なことを言わない方が良いということ
「〇〇は禍の門」

口は禍の門

19 立派な人は危険なところには近寄らない
「君子〇〇〇〇〇〇近寄らず」

君子危うきに近寄らず

ことわざ③ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1	どんな名人や達人でも、ミスを起こすことはあるということ 「○○○○にも筆の誤り」	弘法にも筆の誤り
2	他人のことには忙しいが自分のことにはかまわないこと 「紺屋の○○○○○」	紺屋の白袴
3	準備をしていること、慎重なこと 「転ばぬ先の○○」	転ばぬ先の杖
4	どんな名人や達人でも失敗する 「猿も○○○○○○○」	猿も木から落ちる
5	余計なことをしなければ、災いは起きないということ 「○○○○○○○に祟りなし」	触らぬ神に祟りなし
6	凡人でも三人集まれば、いい考えが浮かぶものだという事 「三人寄れば○○○○○○○」	三人寄れば文殊の知恵
7	人は関わる環境などで良くも悪くもなる 「○○○○○○○れば赤くなる」	朱に交われば赤くなる
8	知らない方が良いこともあるということ 「知らぬが○○○」	知らぬが仏
9	好きなことは一生懸命取り組むため、自然と上達する 「好きこそ○○○○○○○○○○○」	好きこそものの上手なれ
10	物事を焦って急ぐと失敗しやすい 「急いては事を○○○○○」	急いては事を仕損じる
11	指示者が多いと良い方向へ進めなくなってしまう 「○○○○○○○○○○○船山に登る」	船頭多くして船山に登る
12	善いと思った事はすぐに実行するべきだ 「善は○○○」	善は急げ
13	長いことも小さいことも小さいことの積み重ね 「千里の道も○○○○○」	千里の道も一歩から
14	大きいものは、小さいものの代わりにもなる 「○○○○○○○を兼ねる」	大は小を兼ねる
15	立ち去るときには、極力綺麗にしてからいなくなるべきだ 「立つ鳥跡を○○○○○」	立つ鳥跡を濁さず

16 人の好みはそれぞれで、ずいぶんと違いがある
「○○○○○○も好き好き」

蓼食う虫も好き好き

17 偶然良いことが起こること
「棚から○○○○」

棚からぼたもち

18 合わないこと、とても差があること
「提灯に○○○○」

提灯に釣り鐘

19 小さなことでも続けると成果がでる
「○○も積もれば○○となる」

塵も積もれば山となる

ことわざ④ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1 とても差があること 「月と○○○○」	月とすっぽん
2 小さな欠点を無理に直そうとして、全体をダメにしてしまう 「○○○○○○○牛を殺す」	角を矯めて牛を殺す
3 才能がある人は人から憎まれ邪魔をされる 「○○○○は打たれる」	出る杭は打たれる
4 近くは明るくないこと→近くのことはわからないということ 「灯台○○○○○」	灯台下暗し
5 手ごたえがないこと、効き目がないこと 「豆腐に○○○○」	豆腐にかすがい
6 手に入るかどうか分からないものに期待し計画を練ること 「○○○○○○○の皮算用」	捕らぬ狸の皮算用
7 どれもあまり差がないこと 「どんぐりの○○○○○」	どんぐりの背くらべ
8 いやなときにいやなことが起きる→最悪 「泣き面に○○」	泣き面に蜂
9 優しくすることは、人のためでなく自分のためになるということ 「情けは○○○○○○○○○」	情けは人の為ならず
10 七回失敗しても八回頑張る 「七転び○○○」	七転び八起き
11 回りくどくて効き目がないこと 「二階から○○○○」	二階から目薬
12 物事は繰り返す 「○○○○○○○は三度ある」	二度あることは三度ある
13 二つ狙うと一つもとれない→欲張ると一つもとれない 「二兎を追う者は○○○○○○○○」	二兎を追う者は一兎をも得ず
14 手ごたえがないこと、効き目がないこと 「ぬかに○○」	ぬかに釘
15 濡れた手だと粟をつかみやすくなる→もうかること 「○○○で粟」	濡れ手で粟

16 好きなものを近くに置くと危険だということ
「猫に○○○○○」

猫にかつおぶし

17 猫にお金をあげても無駄である
「猫に○○○」

猫に小判

18 本当の実力者は力を隠している
「○○○○○○は爪を隠す」

能ある鷹は爪を隠す

19 すぐに忘れてしまう
「喉元過ぎれば○○○○○○○○」

喉元過ぎれば熱さを忘れる

ことわざ⑤ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1 手ごたえがないこと、効き目がないこと 「暖簾に〇〇〇〇」	暖簾に腕押し
2 見た目や形よりも実際に利益になることを選ぶこと 「〇〇より団子」	花より団子
3 早起するとちょっといいことがある 「〇〇〇〇は三文の徳」	早起きは三文の徳
4 噂や評判もすぐなくなること 「人の噂も〇〇〇〇〇〇日」	人の噂も七十五日
5 百回聞くより一回見た方が良く分かる 「百聞は〇〇〇〇〇〇〇〇」	百聞は一見にしかず
6 豚に真珠をあげても無駄→価値の分からない者に貴重なものを与えても無駄であること 「〇〇に真珠」	豚に真珠
7 下手だけど熱心にやっている 「下手の〇〇〇〇」	下手の横好き
8 何もやらないと、何も起こらない 「〇〇〇〇〇〇は生えぬ」	蒔かぬ種は生えぬ
9 待つと良いことがある 「待てば〇〇〇〇〇〇〇〇あり」	待てば海路の日和あり
10 三歳のときの性格は、百歳まで続くということ 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇百まで」	三つ子の魂百まで
11 すごく熱いものに水をかけてもすぐには冷めない→あまり意味がない 「焼け石に〇〇」	焼け石に水
12 嫌なときに嫌なことが起きる→最悪 「〇〇〇〇目に〇〇〇〇目」	弱り目に祟り目
13 自分にとって良いことは辛く感じる 「〇〇〇〇〇〇は口に苦し」	良薬は口に苦し
14 悪いことや欠点を全部隠しきれておらず、他人に見つかってしまうこと 「〇〇〇〇隠して〇〇隠さず」	頭隠して尻隠さず

15 夏の暑さも秋の彼岸には、冬の寒さも春の彼岸には、和らぐこと
「○○○○○○も彼岸まで」

暑さ寒さも彼岸まで

16 好きになると、相手の欠点も長所のように思えてしまうこと
「○○○もえくぼ」

あばたもえくぼ

17 小さな出来事でも、油断すると大きな失敗を招くこともある
「○○○○○から堤も崩れる」

ありの穴から堤も崩れる

18 一つの事を見聞きすれば、全ての事柄を推測できること
「一事が○○○」

一事が万事

19 嘘も場合によっては良い
「嘘も○○○○」

嘘も方便

ことわざ⑥ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1 他人が見ていないところで他人のために努力する様 「○○○○○の力持ち」	縁の下の力持ち
2 他人の利益のために、自らが危険をおかす 「○○○○○○○を拾う」	火中の栗を拾う
3 成功をしても、気を引き締めるべきだということ 「勝って○○○○○を締めよ」	勝って兜の緒を締めよ
4 無駄なことを言わなければ撃たれることはない 「雉も鳴かずば○○○○○」	雉も鳴かずば撃たれまい
5 思い切って大きな決断を下す 「○○○○○○○○○から飛び降りる」	清水の舞台から飛び降りる
6 終わったことを悔やんでも、取り返しは付かないということ 「○○○○先に立たず」	後悔先に立たず
7 ほとんど差がない 「五十歩○○○○」	五十歩百歩
8 子供への愛情のおかげで、夫婦の縁を切らずにいられるということ 「子は○○○○」	子はかすがい
9 何事も人より早く始めれば、優位に立つことができる 「○○○○○○○人を制す」	先んずれば人を制す
10 体は小さくても頭や能力が優れていて侮れない 「山椒（さんしょう）は○○○でもぴりりと辛い」	山椒は小粒でもぴりりと辛い
11 同じ事をしている人の行いは、簡単に想像がつくということ 「○○の道は○○」	蛇の道は蛇
12 やることをやって、あとは結果を待つだけ 「○○○○○○○○○天命を待つ」	人事を尽くして天命を待つ
13 物事をやりすぎることは足りないことと同じくらい良くない→ほどほどがちょうどいい 「○○○○○は猶及ばざるが如し」	過ぎたるは猶及ばざるが如し
14 辛くても、助けてくれたり親切にしてくれる人もいる 「○○○神あれば○○○神あり」	捨てる神あれば拾う神あり

- | | |
|--|-----------|
| 15 準備をしていること→慎重なこと
「○○○○○は憂いなし」 | 備えあれば憂いなし |
| 16 役立つものや優れた才能があるのに、それらを活用していない様子
「○○○の持ち腐れ」 | 宝の持ち腐れ |
| 17 旅先では知人がいないから、恥ずかしいことをしてしまってもその場限りというものである
「旅の恥は○○○○」 | 旅の恥は掻き捨て |
| 18 不必要な物のたとえ
「月夜に○○○○○」 | 月夜に提灯 |
| 19 人に向かって害を与えようとする、かえって自分が痛い目に合う
「○○につばする」 | 天につばする |

ことわざ⑦ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合うことわざを、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です（答えは漢字でもひらがなでもかまいません）。

1 時間はお金と同様に価値があるもの→時間は大切にすべき 「○○は金なり」	時は金なり
2 他人の持つものは、何でもよく見える 「となりの花は○○○」	となりの花は赤い
3 平凡な親が優れた子を生む 「○○が○○を生む」	とびが鷹を生む
4 他人の力を利用して威張った態度をとる人 「○○の威を借る○○○」	虎の威を借る狐
5 泥棒を捕まえてから縄を準備する→物事が起こってから慌てて準備を始める 「泥棒を捕らえて○○○○○○」	泥棒を捕らえて縄をなう
6 自ら危険や災難に飛び込んでいくこと 「飛んで火に入る○○○○○○」	飛んで火に入る夏の虫
7 自分より偉い人には従った方が物事がうまく進む 「○○○○○○には巻かれる」	長い物には巻かれる
8 人には必ず癖があるものだ 「なくて○○○○」	なくて七癖
9 手に入らなかったものほど実際より価値があるように感じる 「○○○○○○○○は大きい」	逃がした魚は大きい
10 つまらないところに優れたものや美しいものがあること 「掃き溜めに○○」	掃き溜めに鶴
11 何かあやしいところがあるはずだ 「○○○○○○○○に煙は立たぬ」	火のない所に煙は立たぬ
12 思いがけないことが起きる 「○○○○○○から○○が出る」	ひょうたんから駒が出る
13 おかしくてたまらない 「へそで○○○○○○○」	へそで茶を沸かす
14 優しい人でも三回目までしか我慢はできない 「○○○の顔も三度」	仏の顔も三度

15 良いことは、ずっとは続かない

「〇〇〇の下にいつも〇〇〇〇はいない」

柳の下にいつもどじょうはいない

16 突然

「やぶから〇〇」

やぶから棒

17 似たような人間が集まる

「類は〇〇〇〇〇」

類は友を呼ぶ

慣用句① 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 こき使う 「あごで○○○」	あごで使う
2 すごく疲れる 「あごを○○」	あごを出す
3 言い間違いをからかう 「○○○○を取る」	あげ足を取る
4 赤字になる 「足が○○」	足が出る
5 腐りやすい 「足が○○○」	足が早い
6 落ち着かない 「足が○○○○ない」	足が地に着かない
7 足が疲れる 「足が○○になる」	足が棒になる
8 遠くへ行く 「足を○○○」	足を延ばす
9 邪魔をする 「足を○○○○」	足を引っ張る
10 悪いことをやめる 「足を○○○」	足を洗う
11 決断できずにためらう 「○○○○を踏む」	二の足を踏む
12 引け目を感じて、対等な関係になれない 「頭が○○○ない」	頭が上がらない
13 尊敬する、敬服する 「頭が○○○」	頭が下がる
14 どうしたら良いか分からずに、思い悩む 「頭を○○○○」	頭を抱える
15 上達する 「腕が○○○」	腕が上がる

16 能力を発揮しようと張り切る

「腕に〇〇をかける」

腕によりをかける

17 能力を発揮する

「腕を〇〇〇」

腕を振るう

18 世間に知り合いが多い

「顔が〇〇〇」

顔が広い

19 有名になる

「顔が〇〇〇」

顔が売れる

20 名が知れており、多少の無理が通る

「顔が〇〇」

顔が利く

慣用句② 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 恥をかかせる 「顔に○○○○○」	顔に泥をぬる
2 恥をかかせる 「顔を○○○」	顔をつぶす
3 その人の名誉を保たせる 「顔を○○○」	顔を立てる
4 味方をする 「肩を○○」	肩を持つ
5 対等の位置に立つ 「肩を○○○○」	肩を並べる
6 驚き、ひやりとする 「肝を○○○」	肝を冷やす
7 うっかり話してしまう 「口が○○○」	口がすべる
8 口数が少ない 「口が○○○」	口が重い
9 何度も注意する 「口を○○○○○○○」	口をすっぱくする
10 何人もの人が同じことを言う 「口を○○○○○」	口をそろえる
11 不満気にものを言う 「口を○○○○○」	口をとがらす
12 何か悪いことをしていながら、知らないふりをする 「口を○○○」	口をぬぐう
13 白状する、自白する 「口を○○」	口を割る
14 最初に発言する 「口を○○」	口を切る
15 ものごとを最初に始め、きっかけを作る 「口火を○○」	口火を切る

16 おだてられ、だまされる
「○○○○○に乗る」

口車に乗る

17 支払うべき金が多く、お金のやりくりができない
「首が○○○ない」

首が回らない

18 不思議に思う/疑問に思う
「首を○○○○」

首をかしげる

19 待ち焦がれる
「首を○○○○○」

首を長くする

20 なかなか行動を起こそうとしない
「腰が○○○」

腰が重い

慣用句③ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 謙虚である 「腰が○○○」	腰が低い
2 話の邪魔をする 「話の腰を○○」	話の腰を折る
3 追い詰められて慌てる 「○○に火がつく」	尻に火がつく
4 無関心な態度をとる 「○を向ける」	背を向ける
5 世話が焼ける 「手が○○○」	手がかかる
6 だまされる 「手に○○」	手に乗る
7 自分ではどうしてもできず、対処に困る 「手に○○○○」	手に負えない
8 自分ではどうしてもできず、対処に困る 「手に○○○」	手に余る
9 力が及ばず、どうしてもできない 「手も○○も出ない」	手も足も出ない
10 何もせずにぼーっとする 「手を○○○○」	手をこまねく
11 相手を導く 「手を○○」	手を引く
12 他のことにも挑戦する 「手を○○○○」	手を広げる
13 扱いに困る 「手を○○」	手を焼く
14 縁を切る、関係を絶つ 「手を○○」	手を切る
15 話をつける、前もって対策をしておく 「手を○○」	手を打つ

16 自ら世話をして大切に育てる

「〇〇〇にかける」

手塩にかける

17 全くかなわない

「歯が〇〇〇〇」

歯が立たない

18 悔しさ、苦しさを必死に我慢する

「歯を〇〇〇〇〇」

歯を食いしばる

19 誇らしい

「鼻が〇〇〇」

鼻が高い

20 取り合おうとせず、冷淡に対応する

「鼻で〇〇〇〇」

鼻であしらう

慣用句④ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 自慢する、得意がる 「鼻に○○○」	鼻にかける
2 調子に乗っている人をへこませる 「鼻を○○」	鼻を折る
3 動じない、落ち着いている 「腹が○○○」	腹が据わる
4 性格が悪い 「腹が○○○」	腹が黒い
5 怒りがこみあげてくる 「腹が○○」	腹が立つ
6 決断する 「腹を○○○」	腹をくくる
7 本心を打ち明ける 「腹を○○」	腹を割る
8 覚悟を決める 「腹を○○○」	腹を決める
9 大笑いする 「腹を○○○○○」	腹を抱える
10 嫌なことを言われて聞くのが辛い 「耳が○○○」	耳が痛い
11 何回も言われる 「耳に○○ができる」	耳にたこができる
12 聞いたことが信じられず、驚く 「耳を○○○○○」	耳を疑う
13 きちんと聞く 「耳を○○○○○○」	耳を傾ける
14 よく聞こうとして集中する 「耳を○○○」	耳を澄ます
15 聞き入れる 「耳を○○」	耳を貸す

16 突然の出来事に驚く様子

「〇〇〇に水」

寝耳に水

17 ワクワクする

「胸が〇〇〇」

胸が踊る

18 不安や悲しみで、辛さを感じる

「胸が〇〇〇」

胸が痛む

19 自分より格上に練習の相手をしてもらう

「胸を〇〇〇」

胸を借りる

20 物事の理解が早く賢い

「〇〇〇〇〇に抜ける」

目から鼻に抜ける

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 新しい発想を得る 「○○○○○○○が落ちる」	目から鱗が落ちる
2 とても忙しい 「目が○○○」	目が回る
3 価値を見抜くことができる 「目が○○○」	目が高い
4 良いものを見慣れており、見分けがつく 「目が○○○」	目が肥える
5 良し悪しを見分けられる 「目が○○」	目が利く
6 程度がひどくて黙って見ていられない 「目に○○○」	目に余る
7 憎んで敵視している相手 「目の○○○」	目の敵
8 見向きもしない、気にもしない 「目も○○○○○」	目もくれない
9 あまりにもひどく見てられない 「目も○○○○○○○」	目も当てられない
10 かわいがって面倒をみる 「目を○○○」	目をかける
11 人の注意を向けさせる 「目を○○」	目をひく
12 目を大きくして驚く 「目を○○○○○」	目を丸くする
13 目の前ことが信じられないくらい驚く 「目を○○○○○」	目を疑う
14 優れたものなどを目の当たりにして、驚いたり感動したりする 「目を○○○」	目を見張る
15 嬉しくて笑顔になる 「目を○○○○○」	目を細める

16 物を探しているときに目を大きく開く
「目を〇〇にする」

目を皿にする

17 とても好き
「目が〇〇」

目がない

18 何もできない
「指を〇〇〇〇」

指をくわえる

19 陰口を言う
「指を〇〇」

指を差す

20 機会を逃す
「あとの〇〇〇」

あとの祭

慣用句⑥ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 ごまかす 「お茶を○○○」	お茶を濁す
2 降参する 「○○○を脱ぐ」	かぶとを脱ぐ
3 弱音をはく 「○を上げる」	音を上げる
4 投げ出す、途中であきらめる 「○○を投げる」	匙を投げる
5 ぼーっとする 「○○の空」	上の空
6 調子に乗る 「○に乗る」	図に乗る
7 許して、なかったことにする 「○○に流す」	水に流す
8 話に合わせて返事する 「○○○○を打つ」	相づちを打つ
9 静かにする 「息を○○○」	息を殺す
10 緊張している、驚いている 「息を○○」	息を呑む
11 どうしたらよいか分からず困る 「○○○に暮れる」	途方に暮れる
12 繰り返し確認する 「○○を押す」	念を押す
13 上手な文章を書く 「筆が○○」	筆が立つ
14 もう一度同じことを期待する 「○○を占める」	味を占める
15 さらに強調する 「輪を○○○」	輪をかける

16 ごくわずか
「雀の〇〇〇」

雀の涙

17 都合がいい
「〇〇がいい」

虫がいい

18 なんとなく予感がする
「虫が〇〇〇〇」

虫が知らせる

19 場所や土地の面積がとても狭いこと
「猫の〇〇〇」

猫の額

20 本性を隠しておとなしく見せる
「猫を〇〇〇」

猫をかぶる

慣用句⑦ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う慣用句を、「 _____ 」のヒントをもとに書きましょう。○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 気が合う

馬が合う

「○○が合う」

四字熟語① 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う四字熟語を書きましょう。「 」は四字熟語の一部で、○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 苦しみながら頑張ること 「○○○○苦闘」	悪戦苦闘
2 悪口やあることないことを言う 「○○○○雑言」	悪口雑言
3 気が合うこと 「意気○○○○」	意气投合
4 多くの人の考えが一致する事 「異口○○○○」	異口同音
5 言わなくても通じ合う仲 「○心○○心」	以心伝心
6 一つのことに集中する 「○○○専心」	一意専心
7 一生に一度のこと 「一○一○」	一期一会
8 短くてちょっとした言葉 「○○言○○句」	一言半句
9 非常に待ち遠しいこと 「○○日○○秋」	一日千秋
10 始めから終わりまで全て 「一部○○○○」	一部始終
11 一目で遠くまで見渡せること 「○○望○○里」	一望千里
12 喜んだり不安になったりすること 「○○喜○○憂」	一喜一憂
13 少ない働きで大きく得する 「○○拳○○○得」	一拳兩得
14 進んだり、戻ったりを繰り返す様子 「一○○一○○」	一進一退
15 身体と気持ちが一緒にあるような様子 「一○○同○○」	一心同体

16 一つのことに集中する

「一〇〇不〇〇」

一心不乱

17 一生に一度の大事なこと

「一〇〇一〇〇」

一世一代

18 1回のことで2つ以上の得があること

「一〇〇二〇〇〇」

一石二鳥

19 短い期間

「一〇〇〇一〇〇」

一朝一夕

20 良いところも悪いところもあること

「一〇〇〇一〇〇」

一長一短

四字熟語② 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う四字熟語を書きましょう。「」は四字熟語の一部で、○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 深い意味があること 「意味○○○○○」	意味深長
2 行いの善悪に応じた報いがあること 「○○○応報」	因果応報
3 混乱しうろたえていること 「○往○往」	右往左往
4 昔のことから学ぶ 「○○○知新」	温故知新
5 自分勝手、わがまま 「○○○引水」	我田引水
6 無敵、完璧な様子 「○○○○無欠」	完全無欠
7 あとほんの少しで危なかった状態 「危機○○○○」	危機一髪
8 危ないところから立ち直る 「○○回生」	起死回生
9 物語などの文章の組み立て方 「起○○○転○○」	起承転結
10 とても意外で珍しいこと 「奇想○○○○」	奇想天外
11 喜び、怒り、悲しみ、楽しみの様々な感情 「○怒○○楽」	喜怒哀楽
12 様子が急激に変わること 「急転○○○○」	急転直下
13 非常に珍しいこと 「空前○○○」	空前絶後
14 群集内に生まれる特殊な精神状態 「○○○○○心理」	群集心理
15 自分のことは考えず平等なこと 「公平○○」	公平無私

16 公平で正しいこと

「〇〇〇〇正大」

公明正大

17 昔も今も東も西も、いつでもどこでも

「〇〇〇東西」

古今東西

18 初冬の、暖かく穏やかな天気

「〇〇〇日和」

小春日和

19 見通しが立たないこと

「五里〇〇〇〇」

五里霧中

20 あまりにもひどいこと

「〇〇〇道断」

言語道断

四字熟語③ 解答

中学受験 国語 (語彙)

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う四字熟語を書きましょう。「 」は四字熟語の一部で、○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 何度も繰り返すこと 「再三○○○」	再三再四
2 寒い日、暖かい日が繰り返されること 「○○寒○温」	三寒四温
3 少数の人が固まって行き来すること 「○○々○々」	三々五々
4 自分で自分を褒める 「自○自○○」	自画自賛
5 自分に必要なものを自分でつくる 「自○○○自○○」	自給自足
6 とても苦しむこと 「○苦○○苦」	四苦八苦
7 何回も試して失敗しながら進むこと 「試行○○○」	試行錯誤
8 自分のせいで自分に悪いことが起こる 「自○○自○○」	自業自得
9 何度失敗してもあきらめず努力する 「○○転○○起」	七転八起
10 ひどく苦しむこと 「○○転○○倒」	七転八倒
11 弱者は負け、強者が勝つこと 「○○○肉○○○食」	弱肉強食
12 思うまま自由に 「○○○○○無尽」	縦横無尽
13 始まりから終わりまで貫くこと、 「○○○○○一貫」	終始一貫
14 自由になんでもできる様子 「自由○○○」	自由自在
15 人それぞれ 「○○○人○色」	十人十色

16	取るか捨てるかを選ぶこと 「〇〇〇〇選択」	取捨選択
17	物事が順調に進んでいる状態 「順風〇〇〇〇」	順風満帆
18	細かくて大切ではない部分 「〇〇〇末節」	枝葉末節
19	いつでも 「〇〇〇時中」	四六時中
20	気持ちががらりと変わること 「〇〇〇一転」	心機一転

四字熟語④ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う四字熟語を書きましょう。「 」は四字熟語の一部で、○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1	小さいことをおおげさに言うこと 「針○○○棒○○」	針小棒大
2	のんびり穏やかに過ごすこと 「○○耕○読」	晴耕雨読
3	心にやましいところが全くない 「○○天○○日」	青天白日
4	危険からもう逃げられない状況 「絶○○絶○○」	絶体絶命
5	千年に一度くらいのめったにないこと 「○○載○○遇」	千載一遇
6	様々に違っていること 「○○差○○別」	千差万別
7	かつて聞いたことがないくらい珍しいこと 「前代○○○」	前代未聞
8	様々に変わっていくこと 「○○変○○化」	千変万化
9	独自で工夫すること 「○○○工夫」	創意工夫
10	少しずつゆっくりと力をつける、遅咲き 「大器○○○○」	大器晚成
11	大して変わらない 「○○同○○○異」	大同小異
12	いきなり本題に入ること 「○○○○直入」	单刀直入
13	昼も夜も休まず急いでやること 「○○○○兼行」	昼夜兼行
14	能力に適した地位や役割を与えること 「適○○適○○」	適材適所
15	素早いこと 「電光○○○」	電光石火

16 自然界に起こる異変

「〇〇変〇異」

天変地異

17 見かけは違うが内容は同じ

「〇〇工〇曲」

同工異曲

18 人に頼らず地力行うこと

「〇〇立〇〇歩」

独立独歩

19 いろいろなところを旅行すること

「〇〇〇〇北馬」

南船北馬

20 2つのものから1つを選ぶこと

「二者〇〇〇〇」

二者択一

四字熟語⑤ 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

意味に合う四字熟語を書きましょう。「 」は四字熟語の一部で、○の数はひらがなで書いたときの字数です。

1 値段が安いこと 「○束○○文」	二束三文
2 毎日のようにたえず進化すること 「日○○月○」	日進月歩
3 他人の意見を聞き流すこと 「馬耳○○○○」	馬耳東風
4 みんなに良く思われようとする 「○○○○美人」	八方美人
5 今にも死にそうなほどひどい状態 「半死○○○○○」	半死半生
6 信じ切っていない状況 「半○○半○」	半信半疑
7 失敗しないこと、確実なこと 「百発○○○○○○」	百発百中
8 何も言わずに実行すること 「○○○実行」	不言実行
9 他人にすぐ流されること 「付和○○○○」	付和雷同
10 技術が発達して便利になっていくこと 「文明○○○」	文明開化
11 ひれ伏すこと 「○○○○低頭」	平身低頭
12 わがままで自分勝手にふるまう 「○○○○○無人」	傍若無人
13 大事なことがおろそかになってしまうこと 「本末○○○○」	本末転倒
14 自分を忘れて、何かに熱中すること 「○我○中」	無我夢中
15 有名だが実力はないこと 「有名○○○」	有名無実

16 油断は失敗の原因になり、敵である
「油断〇〇〇〇」

油断大敵

17 しっかりと用意しておくこと
「用意〇〇〇〇〇〇」

用意周到

18 その場に合わせて対応すること
「臨機〇〇〇〇」

臨機応変

19 老人も若い人も男も女も、全ての人々
「〇〇〇〇〇男女」

老若男女

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

反対の意味の言葉（対義語）を漢字で書きましょう。

1 「客観」の対義語	主観
2 「応答」の対義語	質問
3 「原因」の対義語	結果
4 「形式」の対義語	内容
5 「許可」の対義語	禁止
6 「権利」の対義語	義務
7 「利益」の対義語	損失
8 「拡大」の対義語	縮小
9 「延長」の対義語	短縮
10 「複雑」の対義語	単純
11 「温暖」の対義語	寒冷
12 「絶対」の対義語	相対
13 「収入」の対義語	支出
14 「楽観」の対義語	悲観
15 「保守」の対義語	革新
16 「現実」の対義語	理想